

年頭挨拶

平成二十四年の新春にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

町民のみなさまには、新たな抱負を胸に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、町政運営に對しまして各般にわたり、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年三月十一日発生の東日本大震災からまもなく十か月を迎えます。今回の災害は、人と人の絆を確認し、強めていこうとする大きな契機となり、日常生活がどんなに大切か、いかに心安んずるものかを改めて感じさせられるものとなりました。

全国各地の被災地の日も早い復旧・復興を念願するものであります。

さて、国においては、民主党政権の誕生から二年三か月が経過し、公約実現に向け、政策が進められてきましたが、災害の復旧復興や原発事故の収束、ＴＰＰ協定交渉参加、社会保障と税の一体改革の検討や急激な円高への対応など

課題が山積するなか、生活第一の政策なども、道半ばの様相を呈し、厳しい状況を余儀なくされています。

このような時代こそ、町民のみなさまと手を携えて、それぞれの課題に取り組み、健康で心豊かに、笑顔で暮らせるまちづくりを目指して参りたいと考えております。

本町は、昨年四月に、向こう十年間のまちづくりの指針となる第三次長万部町まちづくり総合計画をスタートさせております。

変動する時代に対応した様々な施策により、まちづくりの主役は「町民一人ひとり」であるとの認識のもと、『みんなで築こう・明るいまちに』をスローガンに、政策公約に掲げた、第一次産業の安定的拡大の推進や、健康・福祉・保健の充実、育児・教育の充実強化、商工・観光振興対策に努め、より良い町民生活をめざして、身の丈にあった足腰の強い行財政基盤づくりに邁進いたします所存であります。

こうした取組が実を結ぶためにも基幹産業である漁業や農業の安定的な振興が必要でありますので、今後も町の経

済を支える産業としての発展を期待しております。

また、商工観光、建設土木関係では、過疎化や購買力の流出など、厳しい環境の中で懸命に努力する状況が続いており、町としても国や北海道の施策利用も視野に入れ、最善を尽くして参りたいと考えております。

昨年十二月には、長年に亘る町民の悲願でありました北海道新幹線の札幌延伸が、大きく前進し、着工認可が現実味を帯びて参りました。新幹線長万部駅の実現は、町の未来を大きく変貌させる好機であります。

今後とも、町民のみなさまと共に知恵を絞り、そして力を合わせて、新幹線長万部駅を活かしたまちづくりや観光の振興に取り組む決意を新たにいたしましたのであります。

結びに、新年も町民みなさまの格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年みなさま方にとりまして、希望と期待に満ちた、健やかで、穏やかな年でありますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

町民のみなさま、明けましておめでとうございます。平成二十四年の新春をみなさまとともに迎えようことを心よりお慶び申し上げますとともに、本年こそ国内外ともに平和な年であって欲しいと心から願うものであります。

顧みますと、昨年は東日本大震災があり、当町もホタテ養殖施設、漁具などに甚大な被害を受けました。さらに、東京電力福島第一原子力発電所が引き起こした重大事故は県民が放射能汚染から余儀なく他県への避難を強いられ、おり、農水産物の被害も計り知れません。議会といたしましては、原発からの撤退、安全優先と自然エネルギーへの転換を求める意見書をいち早く国へ提出いたしました。

また、交渉への参加を行わないよう求めておりましたが、ＴＰＰ環太平洋パートナーシップ協定は、「交渉参加に向けて関係国と協議に入る」と野田首相が表明いたしました。本道の農業、漁業だけでなく、食料加工や流通、観光等多くの産業に影響を与え、さらに、

医療分野にまで及ぶとき、国民生活に与える影響の大きさを考えても、国民的議論もなく十分な情報開示もないままに、あまりにも拙速なＴＰＰ交渉への参加は行わないよう強く要望しております。

長年の悲願でありました北海道新幹線の札幌延伸は、町をはじめ、関係団体の度重なる中央要望が実を結び、年末には民主党が二十四年度着工方針を固めました。いよいよ着工認可が現実味を帯びてきております。この重大な問題を積極的に取り組んでいくため、十二月議会において、議長を除く九名の議員で構成する「新幹線建設促進等に関する調査特別委員会」を設置し、今後、精力的に調査・研究をして参ります。

さて、昨年の四月には、議会議員の選挙が執行され、無投票ではありましたが、十名の議員が当選いたしました。少数ではありますが、一致結束して町民のみなさまの信託に応える決意でございます。

国は地方議会制度改革について、住民の意向をより一層地方公共団体の運営に反映できるようにする見地から、議

会のあり方等を第三十次地方制度調査会に諮問をいたしました。

地方議会制度について、地方自治法の一部を改正する法律案の中には、条例により定例会・臨時会の区別を設けないで、会期を通年とするいわゆる「通年議会」があります。

「通年議会」については、一昨年議会運営委員会において、すでに実施しております。白老町や福島町議会を視察研修し検討いたしました。時期尚早であると結論づけております。まずは町民のみなさまとより身近な議会を目指し、ナイター議会やサンデー議会を開催しておりますが、今後とも、「議会改革等に関する調査特別委員会」において、「議会基本条例」策定等議会の活性化に取り組んでまいります。

多難な財政状況と依然として厳しい生活環境ではございますが、町民のみなさまの更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに新しい年が、みなさまにとりまして健康で幸多い年でありますよう、心から祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

2012年 辰年
年頭あいさつ

新年あけまして おめでとらございます

町民のみなさまへ
謹んで新年のご挨拶を申し上げます

長万部町議会議長
木 幡 正 志

長万部町長
白 井 捷 一